



Australian Sake Festival

Customer Survey | 来場者アンケート

2025年9月27日（土）、9月28日（日）開催 シドニー



イベント概要

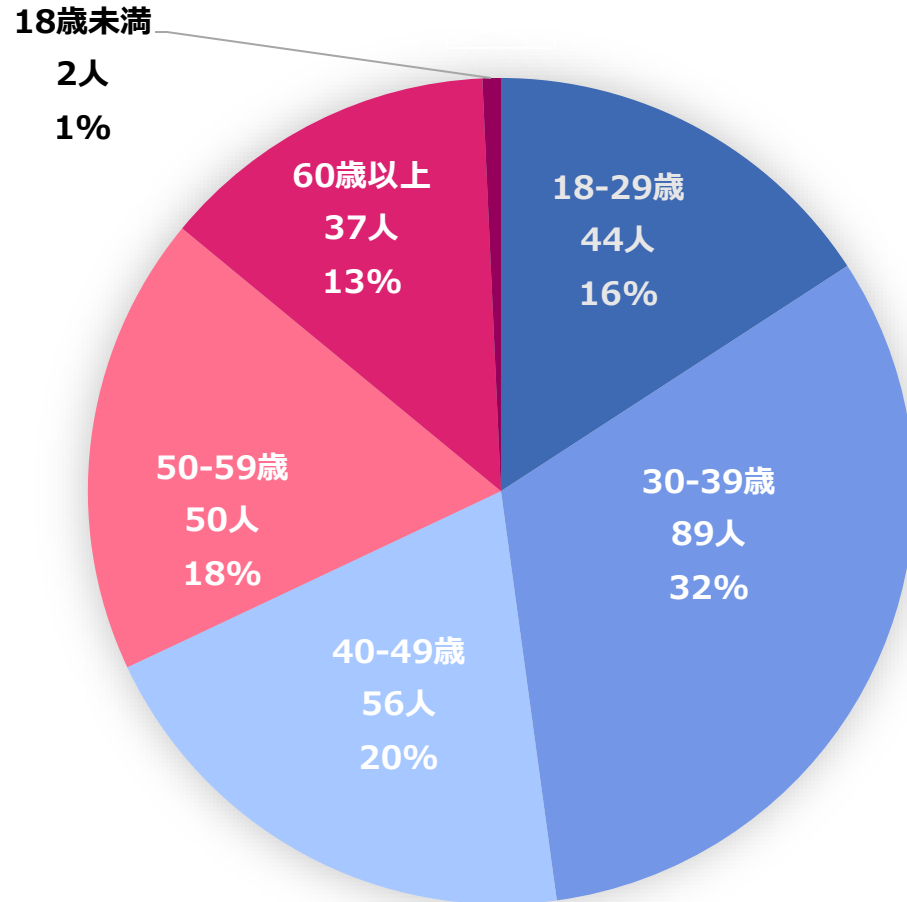
イベント名	Australian Sake Festival 2025 in Sydney
会場	Carriageworks (245 Wilson St, Eveleigh NSW 2015, Australia)
開催日時	2025年9月27日（土）、9月28日（日）
来場者数 (2日間合計)	<p>8,000人</p> <p>内訳： 前売りチケット購入者 7,600人 当日チケット購入者 150人 招待客 250人</p>
出展者数	<p>80社</p> <p>内訳： 酒類 49社（うち日本から 30社が来豪） 食品・屋台 16社（うち日本から 2社が来豪） 日用品 9社（うち日本から 2社が来豪） 観光 6社（うち日本から 2社が来豪）</p>

アンケート実施概要

アンケート名称	Australian Sake Festival in Sydney 2025 - Customer Survey
アンケート実施方法	イベント後にチケット購入者にEメールにてオンラインアンケートフォームを配布し、回答を集計
アンケート実施期間	2025年10月8日～10月15日
アンケート有効回答数	278件
アンケート設問内容	年齢、性別、来場手段、居住エリア、年収、会場内での支出額、Travel Japanエリア（G'day Japanブース他）について他、訪日経験、日本への興味関心事、イベントの良かった点や改善点、イベントへ望むこと 等

What is your age?

年齢を教えてください。



■ 18-29歳 ■ 30-39歳 ■ 40-49歳 ■ 50-59歳 ■ 60歳以上 ■ 18歳未満

幅広い年齢層が来場

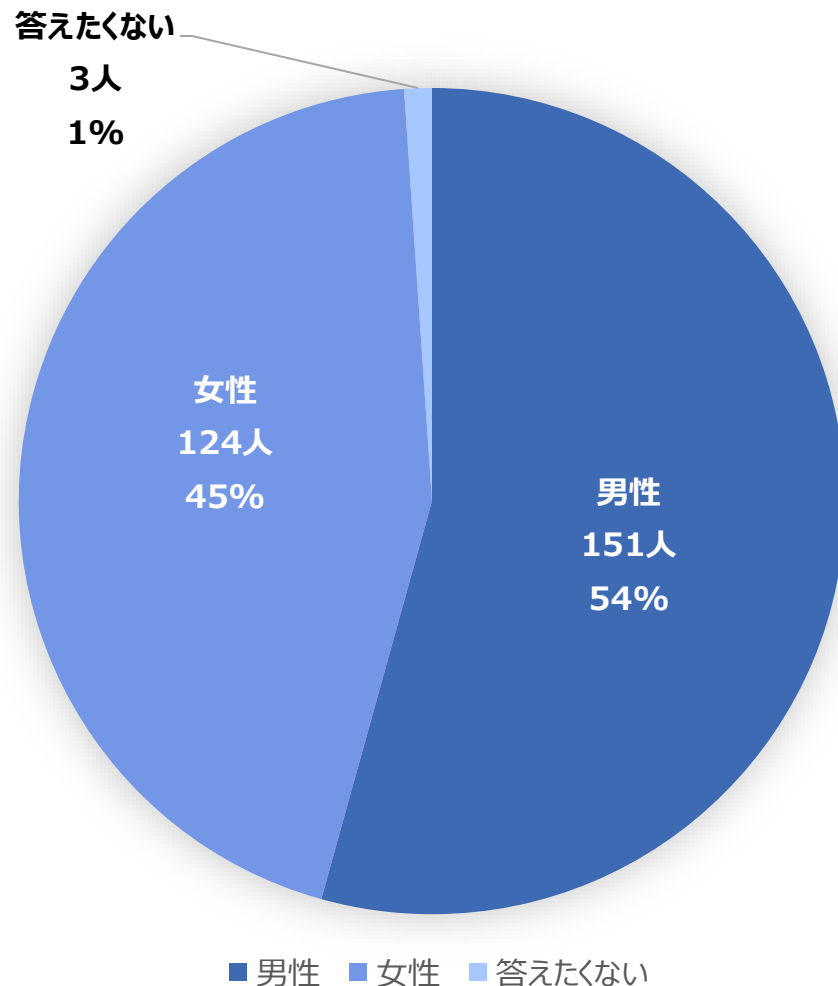
30代が最多(32%)で、次いで40代(20%)、50代(18%)、20代(16%)と幅広い年齢層が集まっている。

特に20代~40代のミレニウム世代が70%を占めており、訪日観光に積極的な層と一致することから、**訪日観光客としての潜在的なターゲット層に直接アプローチできる場**であることが伺える。

また、60歳以上と答えた方は昨年より2ポイント、一昨年比で5ポイント増加し、年々割合が上昇している。

What is your gender?

性別を教えてください。



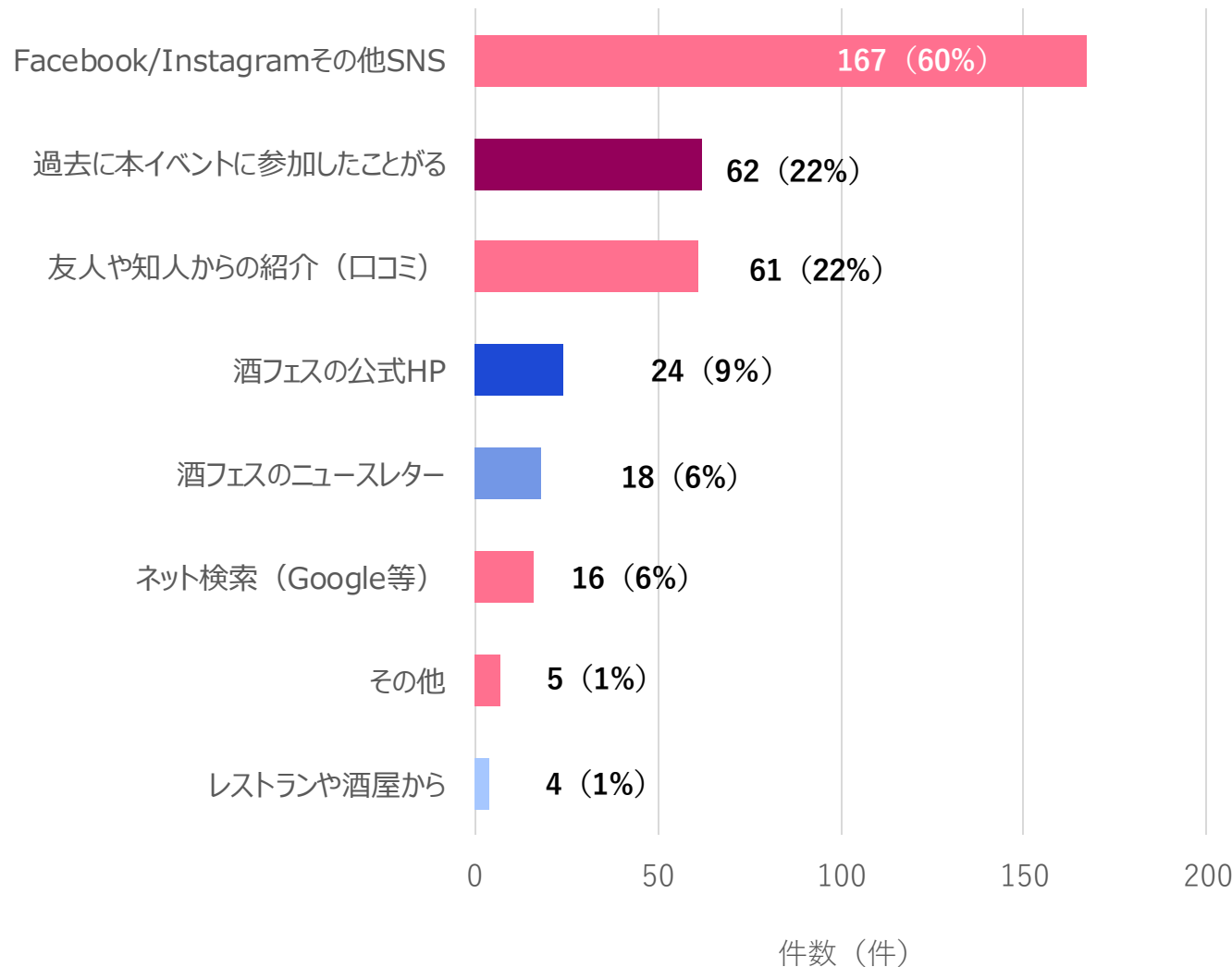
ジェンダーの均衡

来場者の男女比は男性54%・女性45%で、**男女ともにバランスよく参加している。**

昨年のデータ（男性49%・女性51%）に比べると、やや男性の割合が増加した。

How did you hear about this event?

イベントについて何処で知りましたか？（複数回答可）



半数以上がSNSを通じてイベントを認知

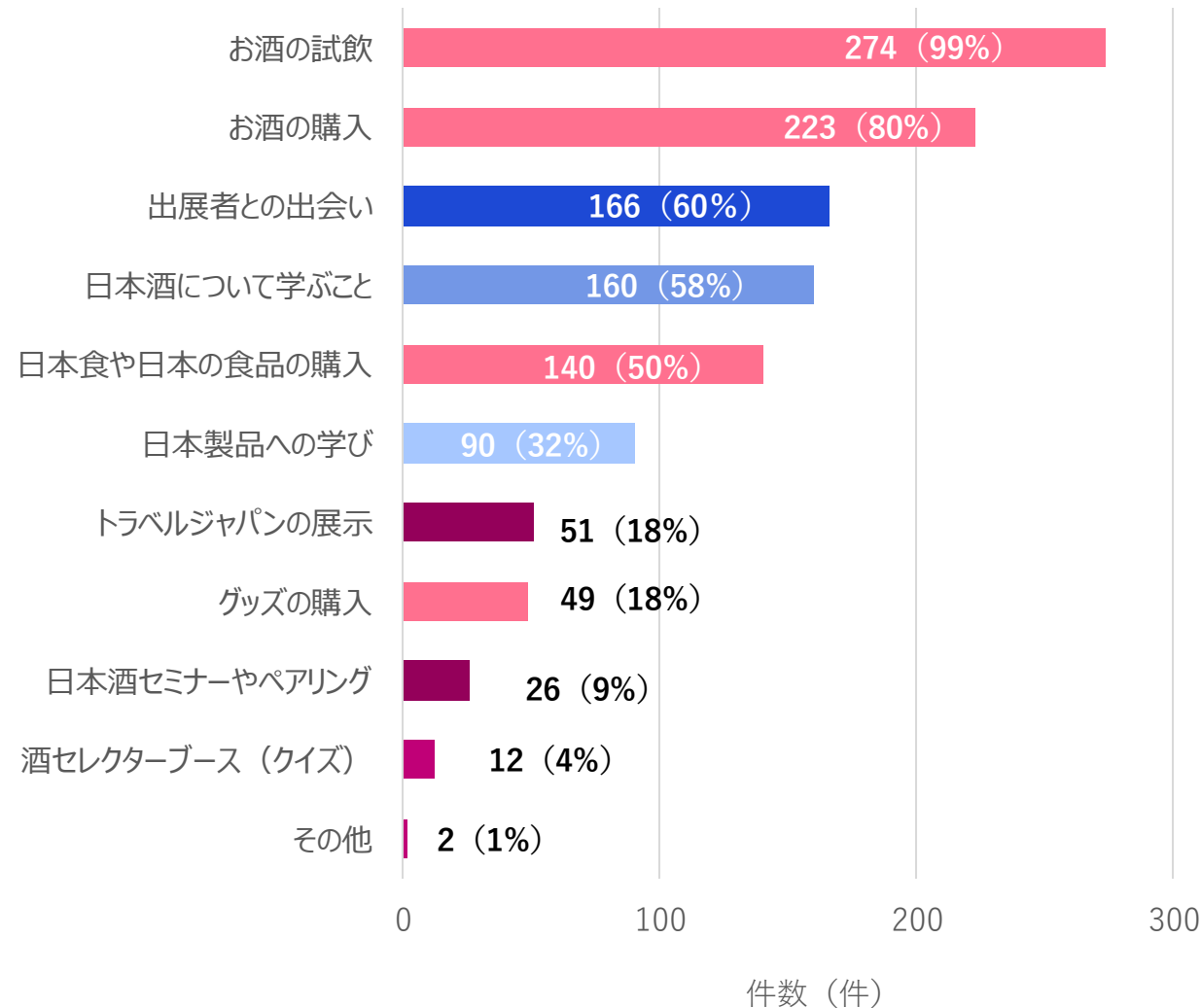
来場者がイベントを知ったきっかけとしては、「SNS」が最も多く、60%を占めた。

次いで「前回からの参加」と「知人や友人からの紹介（口コミ）」がともに22%となり、リピーターや紹介による来場も一定数見られた。

また、「公式HP」や「ニュースレター」を挙げた来場者も一定数おり、今後これらのチャンネルにおける情報発信やコンテンツ強化が求められる。

What did you enjoy at the sake festival?

イベントでは何を楽しみましたか？（複数回答可）



試飲と購入体験が高評価

回答者の9割以上が「お酒の試飲」、約8割が「購入体験」を楽しんだと回答。

また、6割以上が出展者との会話や日本酒について学ぶことを楽しんでおり、**試飲や出展者との交流が購買行動に大きく影響している**ことがわかる。

さらに、「日本酒について学ぶこと」や日本製品への学び「日本酒セミナーやペアリング」など、教育的な要素を楽しんだという回答も多く、本イベントが**日本文化を広める場としても高く評価**されていることが伺える。

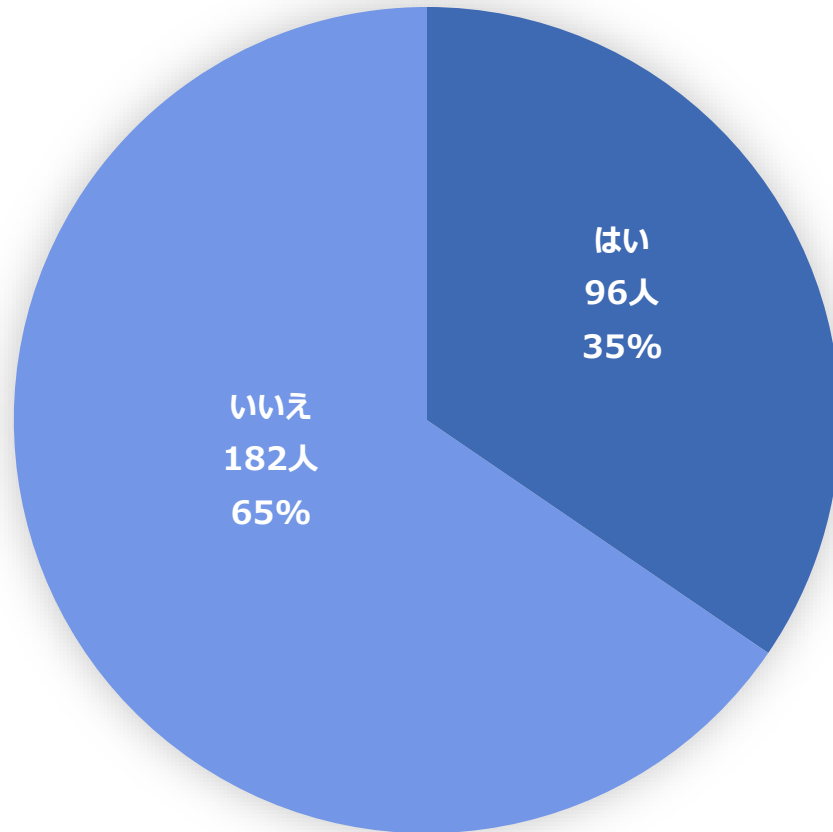
Did you find any other aspects enjoyable at the sake festival?

そのほか、イベントで楽しかったことは何ですか?(全体の回答から一部抜粋)

- ・雰囲気全体が良かった。イベント参加者も皆マナーよく友好的だった。
- ・出展者と製品について会話するのが楽しかった。
- ・ゲームや抽選会が楽しかった。
- ・食べ物が美味しかった。
- ・参加者の人数も許容範囲だった。
- ・一部のお酒が特別価格だったのが良かった。
- ・日本のウイスキーやビールがあったのが良かった。
- ・会場が広く、スペースに余裕があったのが良かった。
- ・酒器が素敵なアクセントになっていた。会場のレイアウトも良く、動き回るスペースも十分にあった。日本酒の試飲は最高だった。

Did you visit the G'Day Japan! showcase?

G'Day Japan! の展示を見に行きましたか？



■ はい ■ いいえ

G'day Japan! エリア訪問状況

約3割強（35%）の来場者が「G'day Japan! エリア」を訪問しており、日本観光や関連情報への一定の関心がうかがえる。

今後は、他エリアとの連携や体験要素を活かした展示企画を通じて、より幅広い層に日本の魅力を伝える機会を創出することが期待される。

こうした取り組みにより、日本観光や地域ブランドへの関心を、訪日や商品購買など具体的な行動へとつなげる可能性が広がると考えられる。

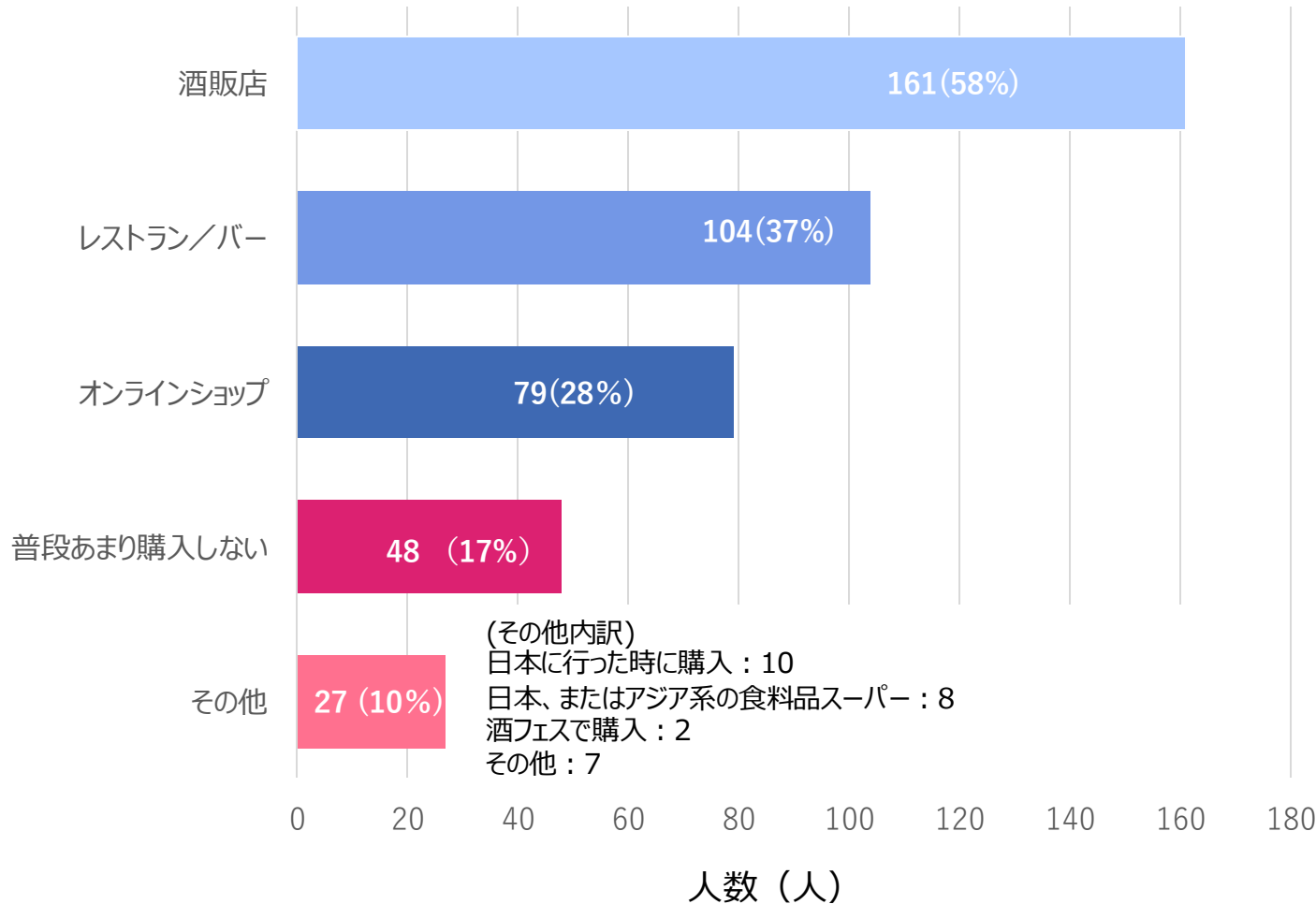
What kind of content would you like to see in the G'Day Japan! showcase at future Sake Festivals?

今後の日本酒イベントでG'Day Japanのどのような展示が見たいですか？

- ・日本食関連の展示
- ・有名な観光地以外の旅情報
- ・日本酒に関わる地域の紹介
- ・日本酒と日本食のペアリング
- ・伝統舞踊
- ・特別価格での販売
- ・お寿司、おにぎりなど作るミニ体験・ワークショップ

Where would you usually buy Sake / Japanese Liquor?

普段、どこで日本酒や日本のお酒を購入しますか？



酒販店が最も主要な購入チャネル

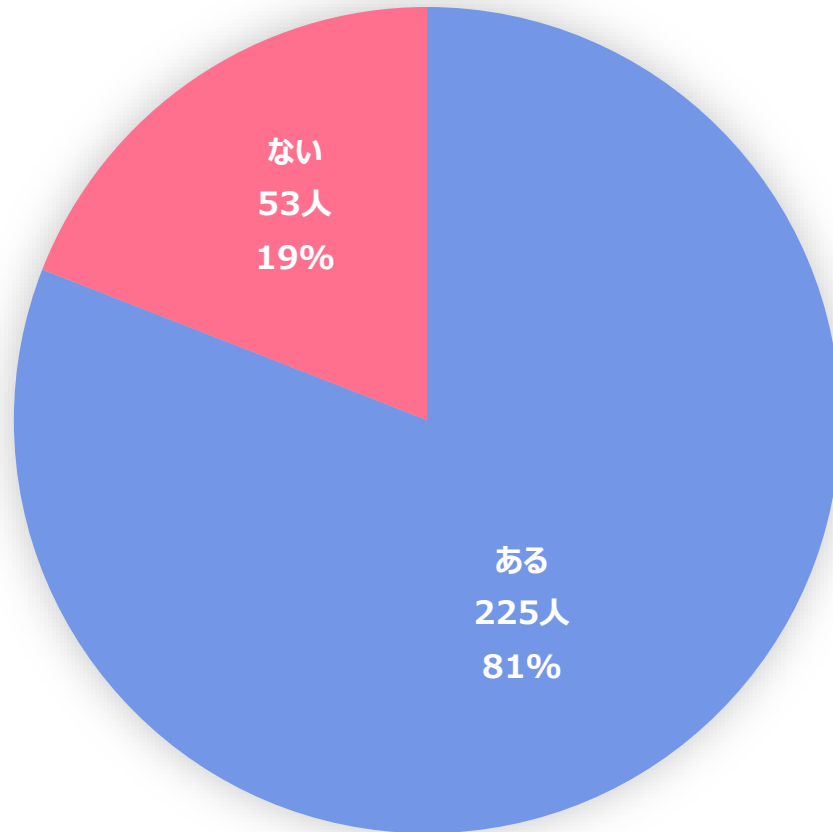
約6割が酒販店で購入しており、オーストラリア人が自宅などで日本酒や日本のお酒を楽しむ人が増えていることが分かる。

一方17%（48人）が「普段あまり購入しない」と回答しており、これまで日本酒に馴染みの薄い層にもリーチできていることが明らかとなった。

新たなファン層の開拓やブランド認知拡大の機会として、今後さらなる市場ポテンシャルが期待される。

Have you been to Japan before?

日本を訪れたことはありますか？



■ ある ■ ない

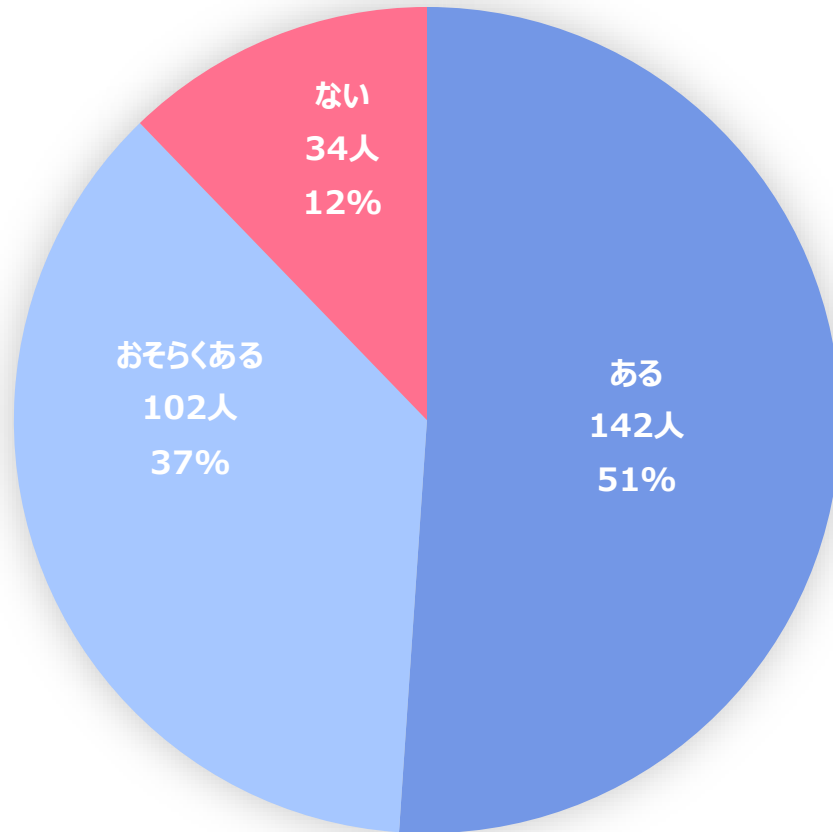
参加者の大多数（81%）が日本を訪れた経験あり

来場者の多くが日本を訪れた経験を持ち、日本の文化や食への理解・親近感の高さがうかがえる。

一方で、約20%が未訪問ながら日本酒や日本文化への関心から来場しており、今後の観光誘致や文化発信のターゲットとして注目される。

Are you planning to visit Japan within the next 12 months?

この先12ヶ月の間に日本を訪れる予定はありますか？



■ ある ■ おそらくある ■ ない

約9割が「訪日意欲あり」

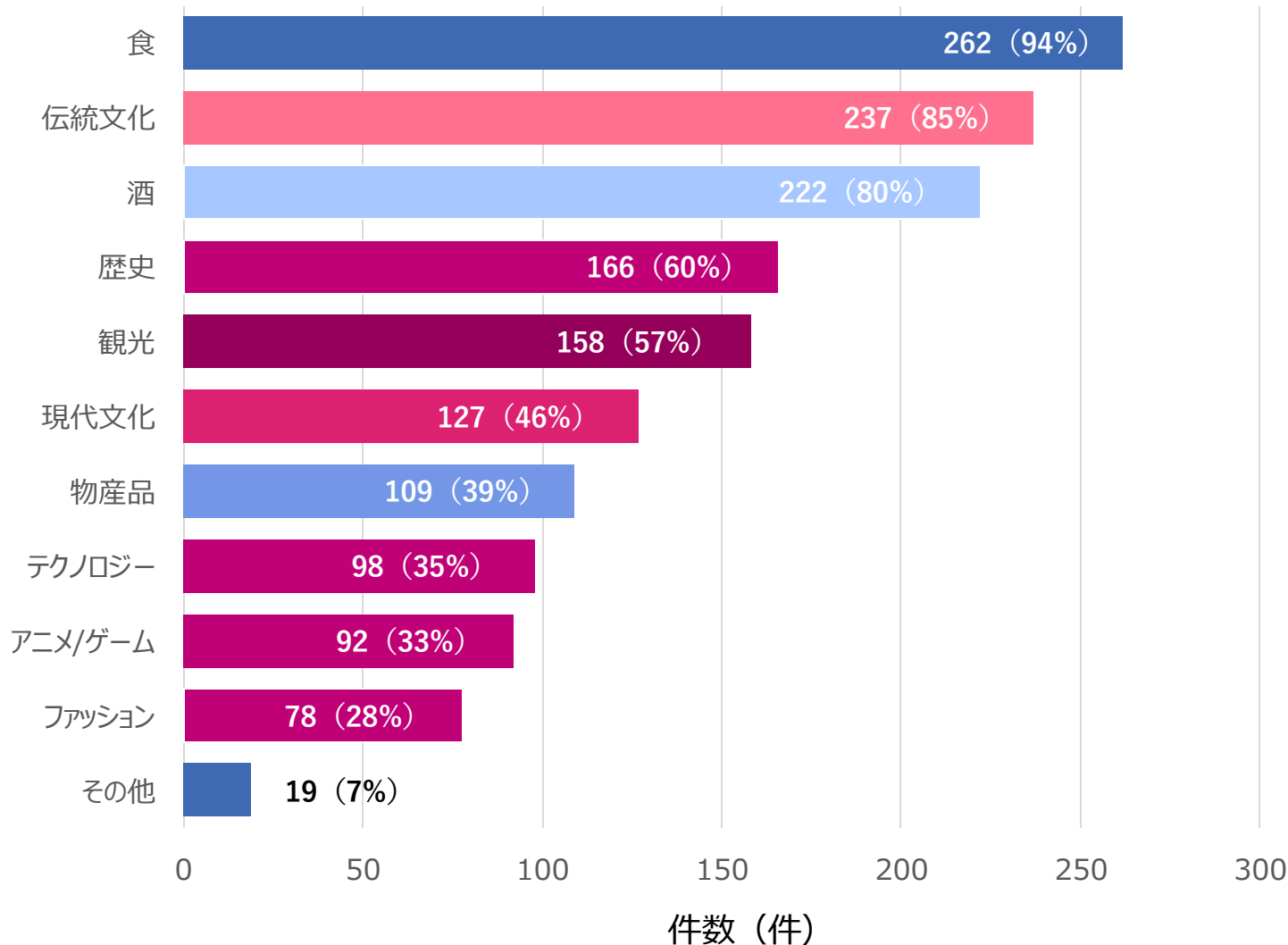
来場者の半数以上（51%）が今後12か月以内に日本を訪れる予定があると回答し、「おそらくある」と答えた37%を含めると、9割近くが訪日意向を示した。

この結果は、イベントが日本酒や食文化への興味を実際の旅行行動へとつなげるきっかけとなっていることを示している。

今後は、訪日を予定・検討している層に向けて、地域ごとの酒蔵紹介や観光情報など、旅の計画に直結するコンテンツを強化することで、さらなる関心喚起と来訪促進が期待できる。

What interests you most about Japan? (Multiple answers allowed)

日本について、どんなことに興味がありますか？(複数回答可)



「食」と「伝統文化」への関心が依然として高く、日本酒も主要テーマに定着

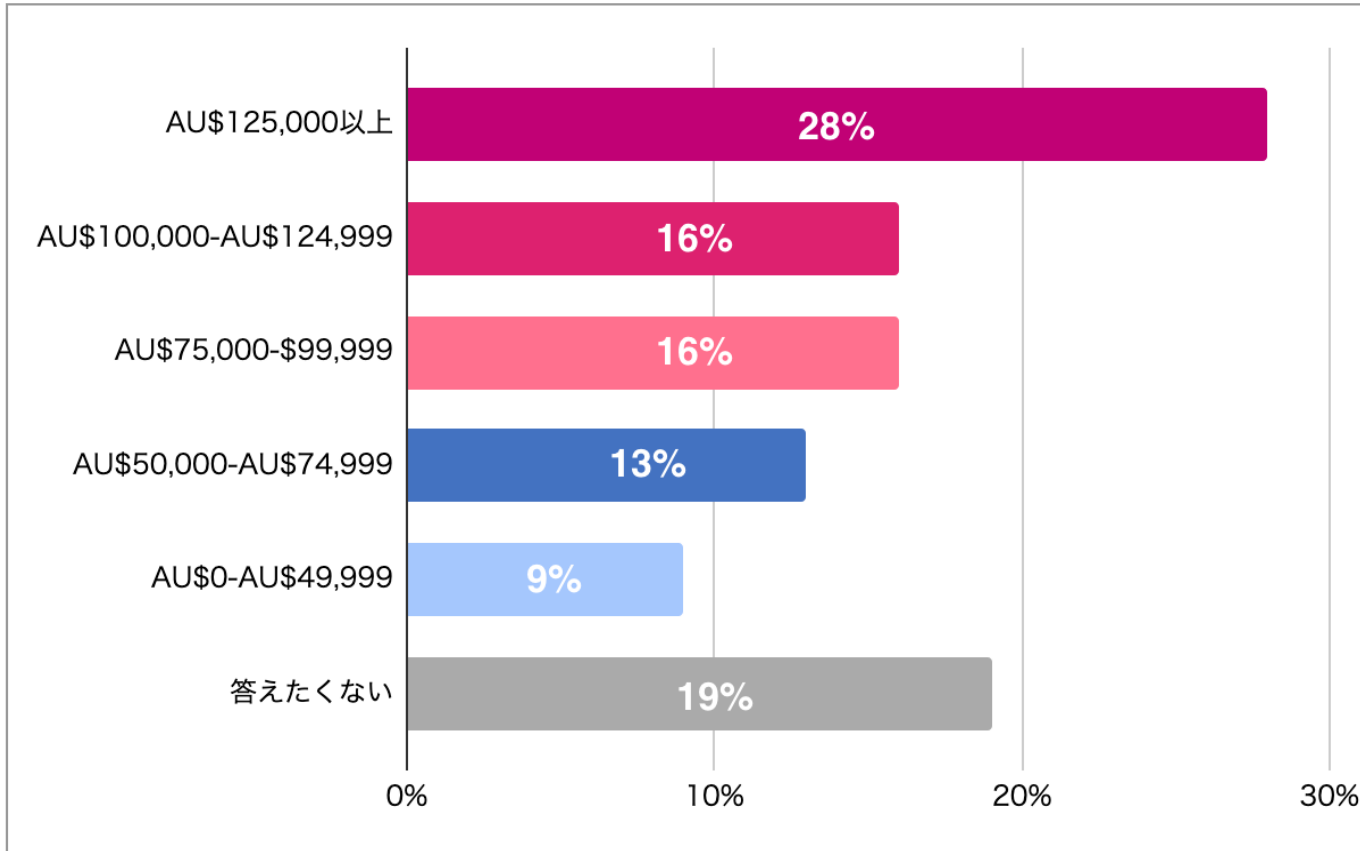
「食」(262名)、「伝統文化」(237名)、「酒」(222名)が上位を占め、日本の食文化や酒、伝統に対する関心の高さが継続していることが確認された。

特に「酒」が単独項目として上位に位置しており、日本酒そのものへの興味がイベントの主要関心領域として定着している。

一方で、「現代文化」「テクノロジー」「アニメ・ゲーム」など新しい切り口への関心も一定数見られ、今後は伝統・食に加え、若年層や新規来場者層を惹きつける多様な文化要素を取り入れた発信が有効と考えられる。

What is your income?

年収を教えてください。



高所得者層が 全体の過半数近くを占める

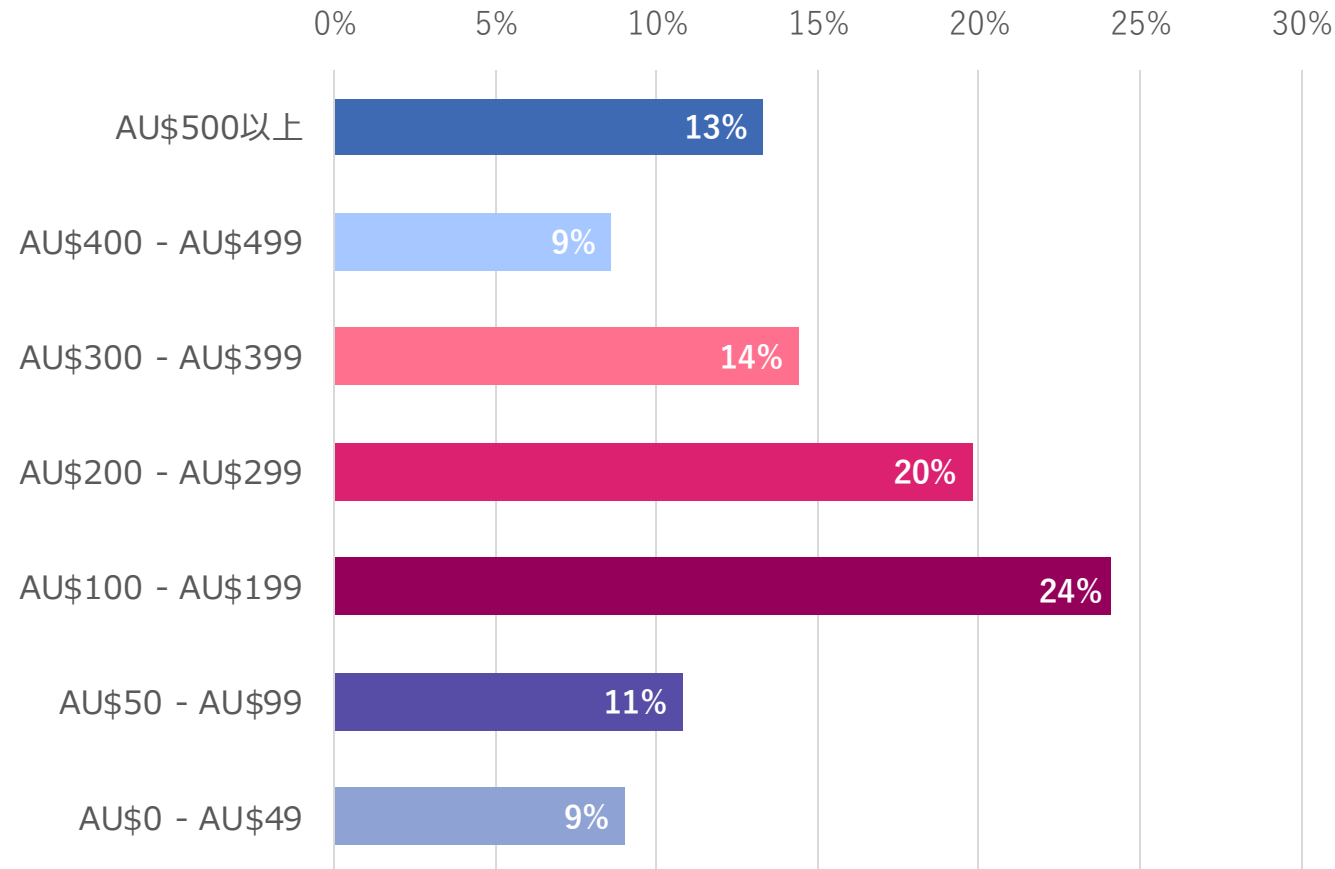
回答者の約半数が年収75,000豪ドル（約750万円）以上であり、Sakeの魅力が**比較的裕福な層が中心に広がっていることが伺える**。

※2024年オーストラリアの年収中間値は67,600豪ドル（約676万円）

また、年収125,000豪ドル（約1,250万円）以上の割合が最も多く、高価格帯の商品や希少な商品に対する訴求を行うことも有効だと考えられる。

How much did you spend at the sake festival?

イベントではいくらお金を遣いましたか？ ※入場料を除く



割合 (%)

購買意欲の高い参加者

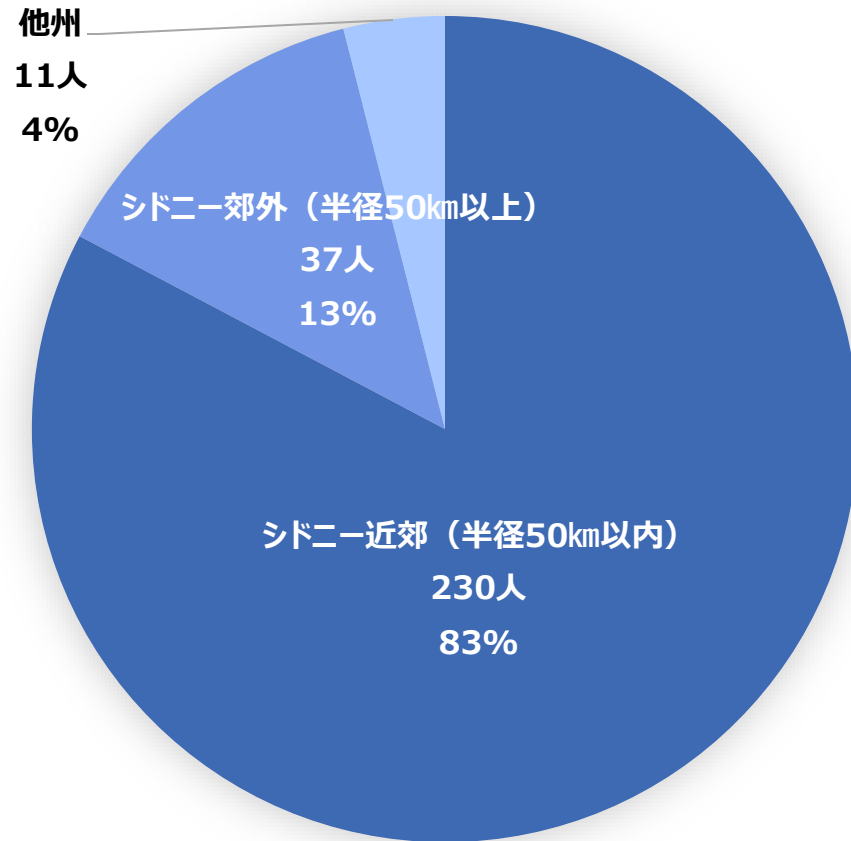
入場料（59～69豪ドル）のほか、会場内で100～199豪ドル（約1万円円～1万9千円）を支出した参加者が最も多いことが分かった。

参加者全体の中央値は約250豪ドル（約2万5千円）で、上位13%は500豪ドル（約5万円）以上を使っていた。

来場者全体の購入率は約90%に達し、来場者の多くが出展ブースでの試飲・試食を経て実際の購入に繋がっている。

Did you travel from outside of Sydney (beyond 50km from the CBD) to attend Sake Festival?

シドニー以外（CBDから50km以上離れた）の地域から来ましたか？



■ シドニー近郊（半径50km以内） ■ シドニー郊外（半径50km以上） ■ 他州

シドニー近郊を中心に、他州からの来場も増加傾向

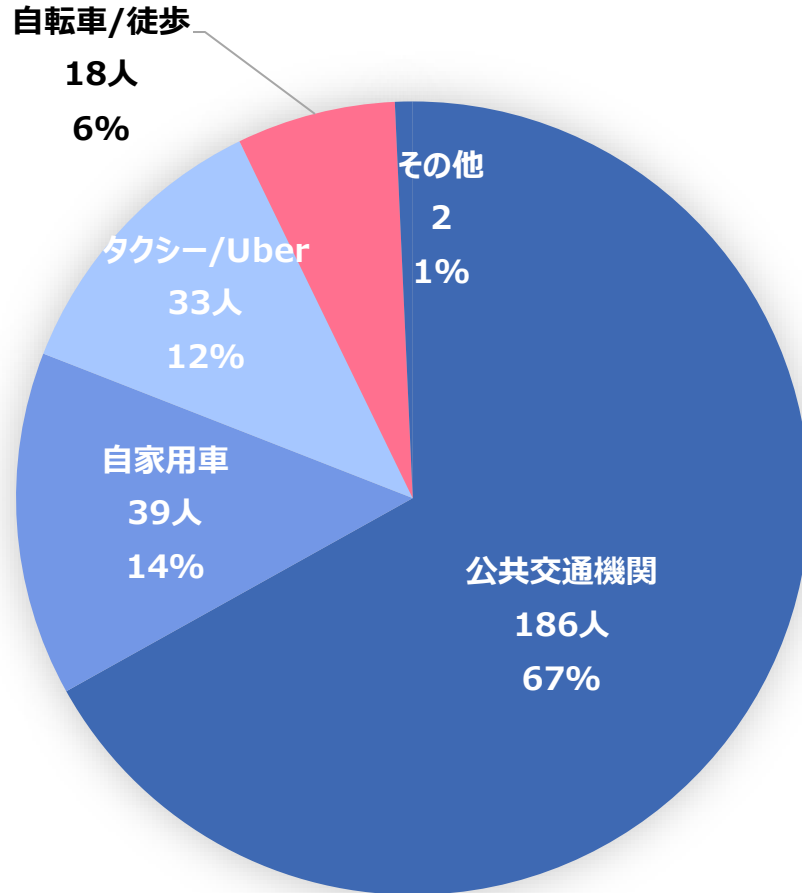
来場者の83%がシドニー近郊（半径50km以内）からの参加であり、地域に根ざしたイベントとして引き続き高い認知度を維持している。

一方で、シドニー郊外（13%）や他州（11%）からの来場も見られ、エリアを越えて関心が広がっていることがうかがえる。

今後はより多くの遠隔地の方にも届くよう、広報やプロモーションの強化を図ることで、さらなる認知拡大と来場促進が期待できる。

How did you travel to Sake Festival?

イベントにはどの移動手段で来ましたか？



■ 公共交通機関 ■ 自家用車 ■ タクシー/Uber ■ 自転車/徒歩 ■ その他

公共交通機関の利用が多い

約8割の回答者が、公共交通機関(67%)やタクシー/Uberなど(12%)車以外の交通手段を利用している。

飲酒を伴うイベントのため、引き続き公共交通機関などの利用を促していくとともに、安全・利便性を重視した会場選びや、オフィシャルサイトでのアクセスページの整備を今後検討したい。

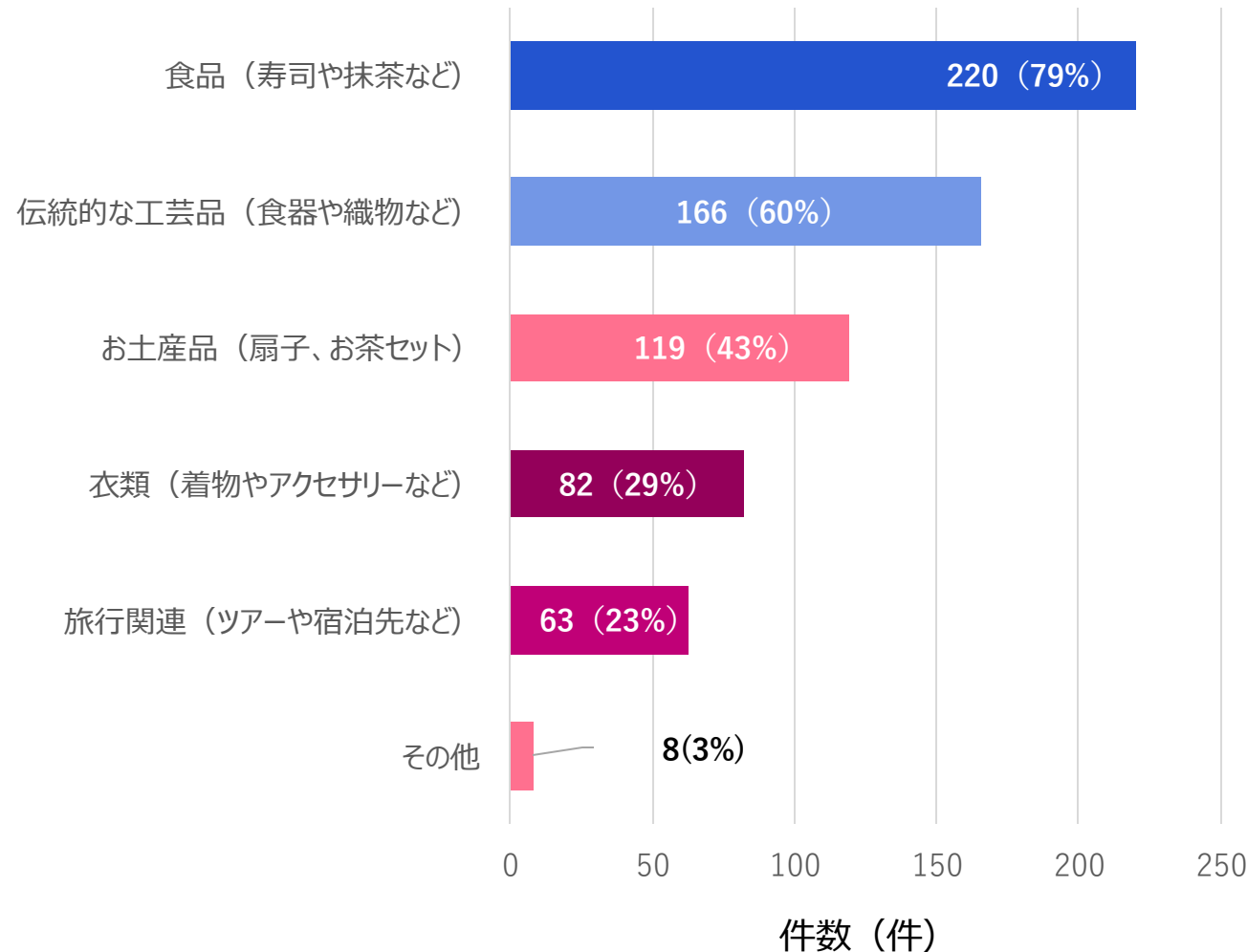
Are there any aspects of Japanese Culture or Japanese Sake that you'd like to see in the future at Sake Festival?

イベントで今後扱ってほしい日本文化や日本酒の展示はありますか？

- ・日本酒の初心者向けでなく、詳しい人も楽しめるセミナー
- ・日本酒の作り方や種類、スタイルについての詳しい展示
- ・お酒の盃やお皿、茶わんなど、日本酒や日本食に関連する製品
- ・日本酒と合わせられる食品や商品がもっと欲しい
- ・もっと色々な種類のアルコールが欲しい
- ・もっと体験的なペアリングの企画や、日本酒／カクテルのワークショップ
- ・本格的な日本食
- ・醤油など調味料の生産者の出展
- ・日本の道具や製品についてもっと知りたい（日用品、文房具、調理器具など）
- ・日本食の教室
- ・茶道体験
- ・アニメ関連の製品
- ・日本の伝統や着物に触れる機会がほしい
- ・太鼓や伝統音楽

If you were to purchase something Japanese at the event, other than sake, what would you be interested in?

イベントで日本酒以外に購入できるとしたら、どのような商品に興味がありますか？（複数回答可）



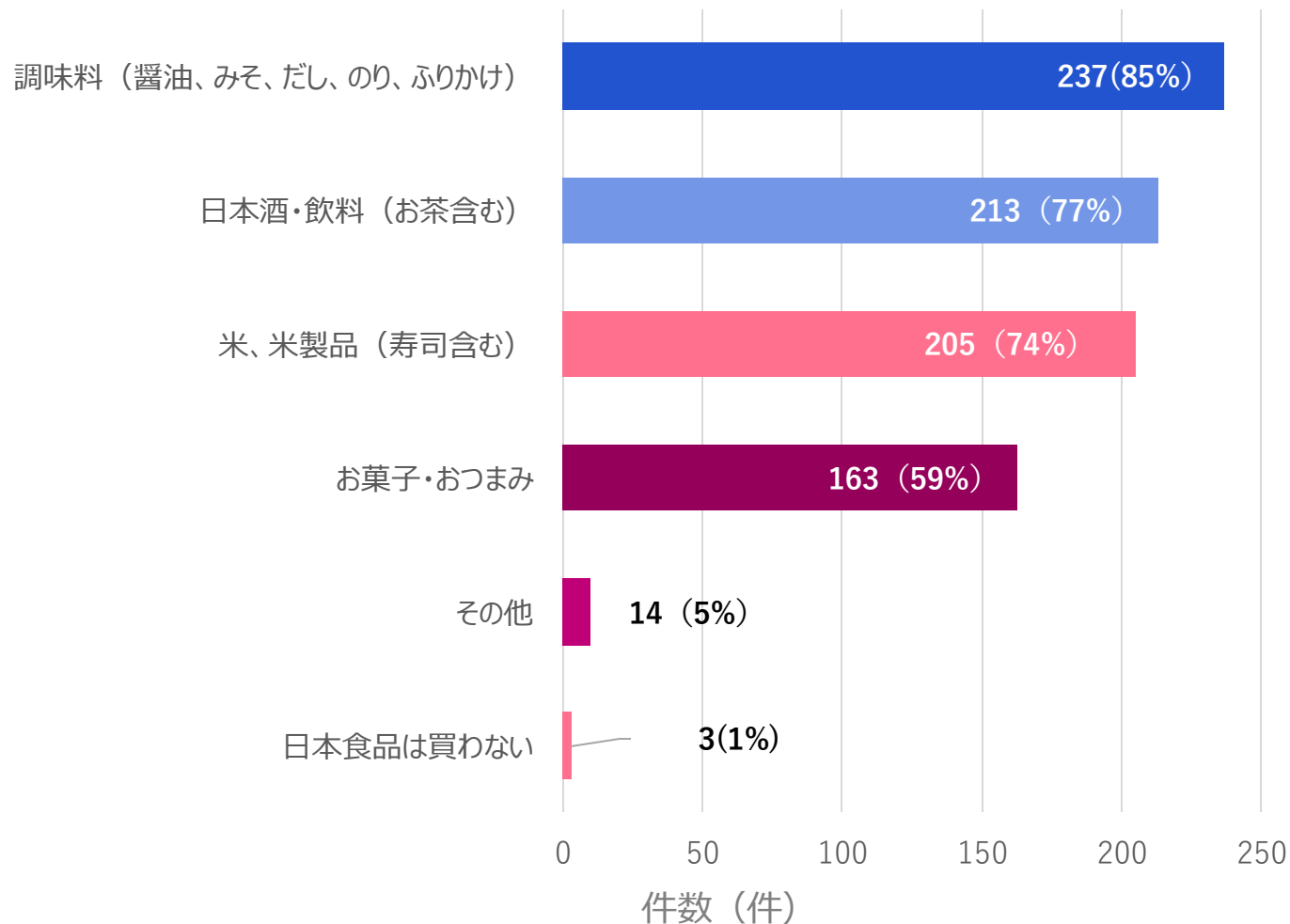
日本酒に加え、食や伝統文化に関連する商品の関心が高い傾向

「食品」(79%)が最も多く、続いて「伝統的な工芸品」(60%)、「お土産品」(43%)が上位を占めた。日本酒にとどまらず、食や工芸を通じて日本文化を体験・共有したいという来場者の意向がうかがえる。

今後は、日本の食文化を広げる食品ブースに加え、伝統技術やデザイン性を活かしたクラフト商品、旅先を想起させるお土産など、“日本文化を持ち帰る”体験を提供するラインナップの拡充が有効と考えられる。

What types of Japanese food products do you usually purchase or consume?

普段どのような日本食品を購入、又は消費していますか？(複数回答可)



日常的に日本食品を取り入れる層が多数、日本酒や米製品の浸透も進む

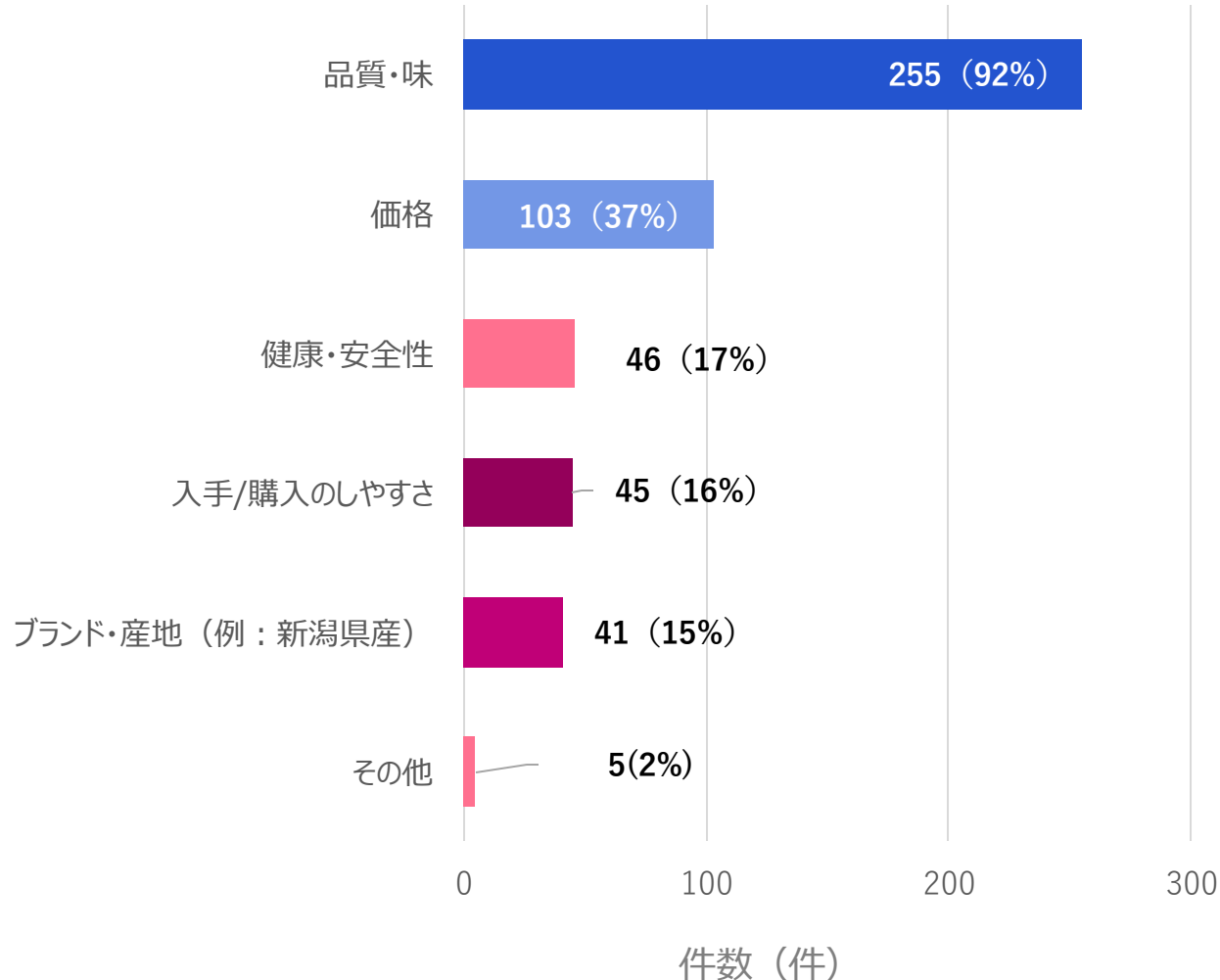
来場者の多くが日本食品を日常的に購入・消費しており、「調味料」(86%)が最も多く、続いて「日本酒・飲料」(77%)、「米・米製品」(74%)が高い割合を占めた。

これらの結果から、日本食文化が嗜好品としてだけでなく、日常の食生活に根付いていることがうかがえる。

今後は、調味料や米製品と日本酒を組み合わせた提案や、家庭でも楽しめるレシピ・ペアリング提案を通じて、日本酒の新たな楽しみ方を広げる施策が有効と考えられる。

When choosing Japanese food products, what factors are most important to you?

日本の食品を選ぶ際、重要視していることは何ですか？（2つまで選択可能）



品質・味を最重視する傾向が顕著

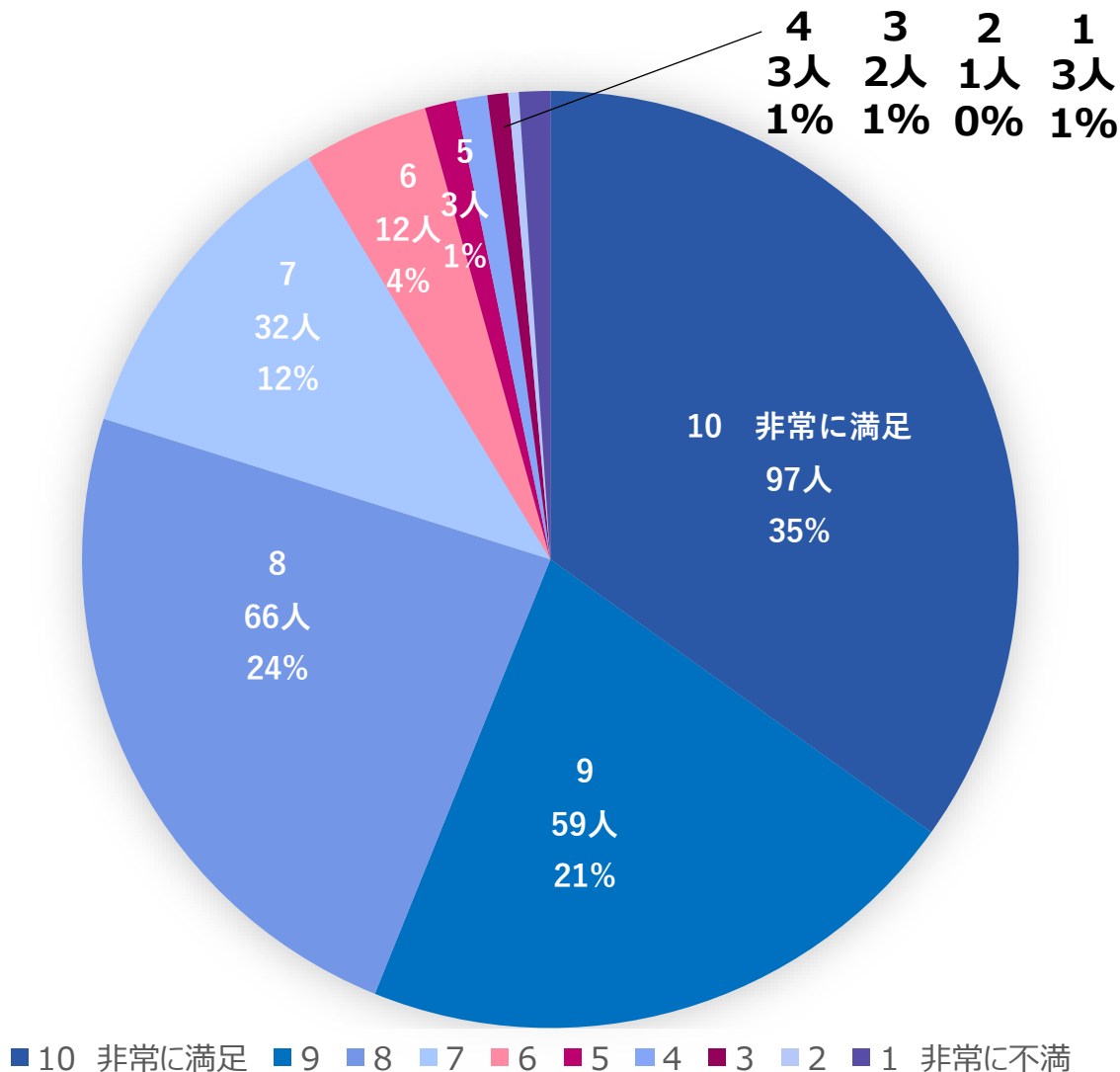
「品質・味」を重視すると回答した来場者が92%と圧倒的に多く、日本食品に対して高品質・本物志向の期待が強いことが示された。

次いで「価格」(37%)、「健康・安全性」(17%)、「入手のしやすさ」(16%)などが続く。

この結果から、来場者は価格よりも、品質や味の信頼性を重視しており、今後は日本酒や食品の“品質の裏付け”や“産地ストーリー”を明確に伝えることで、購買意欲のさらなる向上が期待できる。

Please rate your experience at the festival.

イベントへの満足度を10 (非常に満足) ~1 (非常に不満) の間で表してください。



平均評価8.5の高水準

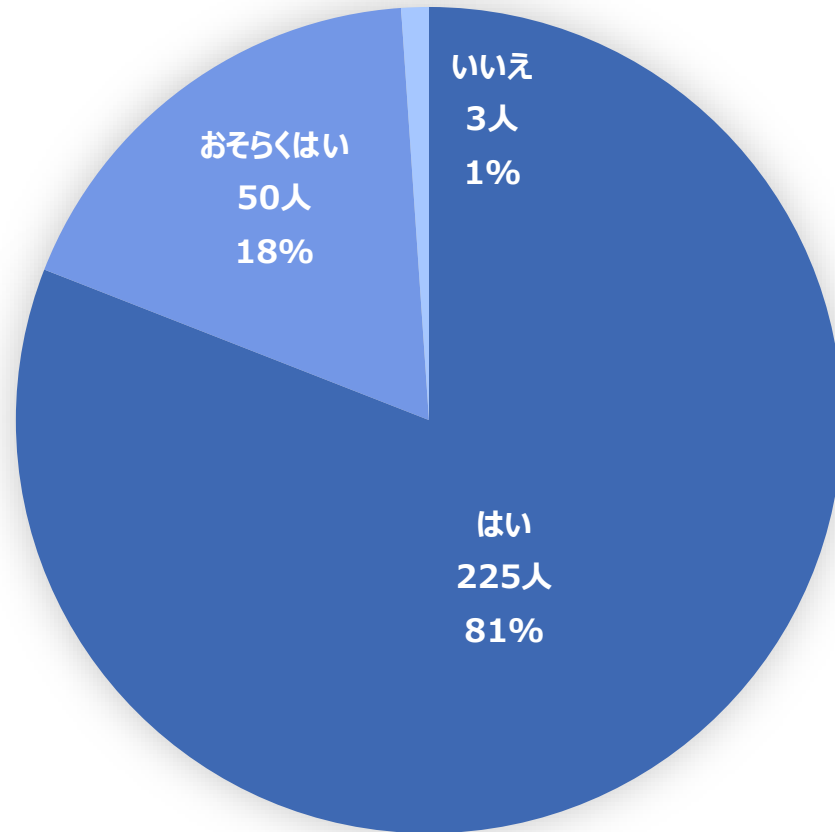
回答者の約8割が8~10と高い満足度を示した。

「非常に満足 (10)」の割合は前年より6%増加しており、イベント内容の充実が来場者にも評価されていることがうかがえる。

今後もこの水準を維持・向上させるため、来場者から特に評価の高かった要素 (例：試飲体験、出展者との交流など) を核としつつ、多様なニーズに応える出展内容や体験機会の拡充を図っていききたい。

Would you like to attend Sake Festival again in 2026?

来年もまた参加したいですか。



■ はい ■ おそらくはい ■ いいえ

「参加する」「おそらく参加する」が99%

「来年も参加したいですか」という設問に対しては、「はい」81%、「おそらくはい」18%と、実に99%の来場者が次回以降の参加に前向きな姿勢を示した。

この結果は、イベント全体への高い満足度と、日本酒・日本文化への関心の高まりを反映しているといえる。

今後もこうした期待に応え、より魅力的で充実した体験を提供できるよう、イベント内容や運営面のさらなる向上を目指したい。